

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第41回鳥栖市地域公共交通会議		
開催日時	令和5年1月17日（火） 15:00～	開催場所	市役所3階大会議室
出席者数	23人	傍聴人数	0人
議題	<p>議案第1号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）【承認】</p> <p>議案第2号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和4年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案）【承認】</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・座席表 ・鳥栖市バスマップ ・議案第1号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案） ・議案第2号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和4年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案） ・資料 1 路線バス及び鳥栖市ミニバスの利用状況について ・資料 2 鳥栖市ミニバス基里地区循環線 うぐめだ橋バス停の移設について 		
所管課	（課名）国道・交通対策課 （電話番号）85-3602		

協 議 （ 議 事 ） 録

議 題	第 41 回鳥栖市地域公共交通会議
日 時	令和 5 年 1 月 17 日（火） 15 時 00 分～16 時 10 分
場 所	3 階大会議室
出席者	<委員> 井上委員、伊佐委員、橋本委員、大鶴委員、中野委員、野崎委員、齊藤委員（代理）、 大石一紀委員、大石豪委員、中村委員、肥山委員、今村委員、小石委員、中野委員、 宮崎委員、福原委員、島内委員、坂井委員、牟田委員（代理） <事務局> 国道・交通対策課 4 人

《結果》

議案第 1 号

令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）【承認】

議案第 2 号

令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和 4 年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案）【承認】

《意見等》

議案第 1 号 令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）

委 員：高齢者福祉乗車券の購入者数が減少している要因は何か。また、路線バス及びミニバスの乗車人数が増加している要因について、新型コロナウイルスの外出制限が少しずつ緩和してきていることが影響していると考えて良いか。

事務局：高齢者福祉乗車券の購入者数の減少について、高齢者が集まる地域のイベント等はまだ開催を見合わせていると伺った。そういった外出機会が減っている結果として、高齢者福祉乗車券の購入者数も減少していると考えている。

路線バス及びミニバスの乗車人数の増加について、新型コロナウイルス流行前の令和元年度と令和 4 年度を比較すると 70%～80%の乗車人数となっており、一度減少したものが徐々に回復していると理解している。

委 員：運行費用が上がっている要因は、ガソリン代が高騰していることが大きな影響だと考えられるか。

事務局：人件費やガソリン代の高騰が影響している。

議案第2号 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（令和4年度鳥栖市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく事業）について（案）

委員：バス待ち環境の改善について、高齢者のためにもなるべく早く対応をお願いしたい。

事務局：ベンチ等を設置するにあたっては歩道の幅員等の条件がある。それらを考慮しながら、できるところからでも設置できるよう、バス事業者と協議を進めたい。

委員：商業施設や市商工振興課と情報共有し、各種イベントへの移動手段としてバスを利用してもらおうと、利用者も増えると思う。

委員：北九州市門司区は、バスのモニターに列車の時刻を掲載しており、乗り換えるのに分かりやすい情報だと思う。

委員：子育て世代として5つ提案したい。①支援センターにバスを通してほしい。もし通るようになれば、支援センターにバスマップを設置してもらおうと目に付くのでは。②子どもが習い事に行く際にバスを利用できるよう、時間帯を考えて欲しい。③バス停を目立たせるために、例えばとっちゃんを印刷して掲示する等しては。④バスマップにアプリのQRコードを掲載しているが、高齢者向けにアプリの勉強会をしてみてもは。⑤他市町の支援バス（コミュニティバス）の視察に行ってみてもは。

事務局：今後ルート見直しを検討していく際の参考意見として伺わせていただく。アプリについては、JR九州・西鉄バスのそれぞれのアプリとなっており、鳥栖市ミニバスについては市ホームページやバスマップにて確認をしてもらう必要があるため、現在の整備状況ではアプリの勉強会は難しいと考える。またコミュニティバスについて、A I型デマンドバス等さまざまな形態があり、現在セミナーや研修等で情報収集をしているが、現地調査も重要だと考えているため、事務局のほうでも視察に行ければと思っている。